

Ⅲ 県政運営を支える行財政改革の着実な推進

「行政DX・新たな価値を創出する働き方改革」の推進や、「収支均衡した財政構造の維持・向上」などを着実に進めることにより、様々な行政課題に的確かつ機動的に対応していくための行財政改革を着実に推進します。（行財政改革期間：令和7年度～令和11年度）

デジタル技術等の活用による業務効率化・県民の利便性向上

●生成AIの利用推進

個別的・具体的な業務に即した生成AIの導入

●実地検査業務の効率化・簡素化

実地検査・指導等における検査・記録用タブレットの導入

●収入証紙の廃止と新たな収納窓口の設置

POSレジやキャッシュレス端末を導入した窓口の設置

●開発登録簿閲覧のオンライン化

オンラインで確認可能なGIS機能付データの作成

収支均衡した財政構造の維持・向上

●プライマリーバランスの黒字堅持

【県債全体】15年連続黒字（+386億円）

【一般分】26年連続黒字（+57億円）

●県債残高の抑制

（単位：億円）

区分	R5	R6	R7	R8
県債全体	11,113	10,772	10,628	10,313
うち一般分	6,847	6,818	6,999	6,994

※R5・R6末は決算、R7末は3月補正後予算、R8末は当初予算ベース

●交付税措置率の高い県債の活用

高等学校教育改革等推進事業債（R8創設）等を最大限活用

将来負担等への機動的な対応を可能とする財源の確保

●重点施策推進のための基金の積立・活用

（単位：億円）

基金区分	積立額 (3月補正)	充当額 (R8当初予算)	基金残高 (R8末)
安心・安全基盤強化基金	35	21	223
デジタル実装推進基金	—	19	18
脱炭素社会実現基金	—	24	22
活性化・県民活力創出基金	—	9	18

●財源調整用基金の確保

（単位：億円）

R4	R5	R6	R7	R8
90	98	117	147	162

※当初予算ベース（年度末残高）